

遠隔 ICU 分科会

Tele-ICU SIG

分科会長 高木 俊介

横浜市立大学附属病院 集中治療部

1. 分科会の目的

本邦ではまだ普及が十分ではない遠隔 ICU に関して、運用モデル、国内での普及実績などを学会で発信していくことで遠隔 ICU の認知向上と普及推進、並びに保険収載に向けた活動をしていくことを目的とする。

2. 令和5（2023）年度活動実績と成果

学術集会：第26回 遠隔医療学会学術集会において、分科会セッションによる議論を行った。様々な視点での発表があり、今後の遠隔 ICU の発展に繋がる分科会セッションとなった。

セミナー事業：遠隔 ICU を普及する特定非営利活動法人 集中治療部治療コラボレーションネットワークと連携して、Web セミナー5回開催した。

AMED 事業：令和5年度の医工連携・人工知能実装研究事業 「患者のライブ映像を含むマルチモーダルな医療データを用いた AI 技術により、重症患者の身体観察所見及び重症度評価を自動化する AI 見守り機能を搭載した D-to-D の遠隔 ICU テレメディシン・サービスの実装研究」に関する研究活動を行い、中間審査を通過して、令和6年度も研究継続となった。

保険戦略：令和6年度の保険収載の要望提案を日本集中治療医学会と連携して提案し、中医協の審査を経て、令和6年度から診療報酬化されることが決定した。

3. 令和6（2024）年度活動計画

遠隔 ICU の普及に向けて、各地域での取り組みをサポートする。

AMED 研究事業を遠隔医療協会とも連携しながら進めていく。

令和6年度の保険収載概要と各地の取り組み事例を遠隔 ICU 分科会で報告したいと考えている。